

傾聴ボランティア通信



野原の歌

猛暑の夏、かけ足の秋、そして冬。季節の巡りはあっという間です。

8月のグループ代表者会議へのご出席ありがとうございました。

ぼつぼつと施設訪問ができるようになってきた今、会員の皆様はお変わりなくお過ごしでしょうか。

新型コロナとインフルエンザの流行が心配です。どうぞお元気でお過ごしください。

グループ代表者会議報告

2023年8月23日(水)13:00-15:00

塩尻総合文化センター

参加 13グループ(21名)

当日欠席のグループには代表者会議の資料を会報と共に郵送しました。

基調報告と提言の内容については資料をご覧ください。

「傾聴ボランティア活動の継続と発展」

各地域・グループの現状報告

1. 会員数について

- ◇減少している 多くのグループが半減している
- ◇減少したが、基礎講座の受講生が入会して会員が増えた

2. 定例会について

- ◇毎月開催しているグループが多数
内容の工夫:「傾聴のテキスト」ロールプレイングなどの研修
協会紙・会報などでの勉強会 会員の話題提供

- ◇コロナ禍以降、休会状態のグループもある

3. 傾聴訪問について

- ◇個人宅傾聴は実施しているグループが多数
- ◇施設傾聴は 社協管轄のデイサービスと 民間・法人施設で開始できた
- ◇医療系統下の施設はボランティア受け入れをまだしていない

各地域・グループで取り組んでいること

- ◇外部講師による講演会・勉強会の実施と実施を計画中
戦争体験 回想法 認知症 満蒙開拓
- ◇「公開型傾聴」を行った
- ◇社協主催の行事で活動紹介をした
- ◇高齢者以外の傾聴利用者(子育て中の親など)を模索中
- ◇県連絡協議会の基礎講座実施の計画(原 伊那・駒ヶ根・辰野・千曲)
- ◇県連絡協議会のおさらい講座を実施した
- ◇グループの会報を発行している
- ◇日本傾聴ボランティア協会のスキルアップ講座を実施した

ブロック(各地域)の現状

北信:グループが減少し、活動が低下している

東信:2グループ減少した

長野県傾聴ボランティア連絡協議会
代表 長谷川 昭

TEL FAX 0264-48-2133

携帯 09043981187

mail mr.kaeru77@ot.kiso.ne.jp

〒397-0201 木曾郡王滝村 4100-13

広報担当 弓削淑子

FAX 0266-74-1122

mail yugetora@po30.lcv.ne.jp

〒391-0115 諏訪郡原村原山17217-2199

連絡協議会への要望・提案

- ①他のグループ、他の地域と合同で研修する、情報交換するなどの機会が欲しい
- ②連絡協議会主催で基礎講座をブロック単位で実施してほしい
- ③地域のまとまり（ブロック内の横の連携）を連絡協議会主導でやってほしい
- ④基礎講座の内容に「人間の尊厳」について触れてほしい
- ⑤出前講座の具体的内容、方法を知りたい

上記要望に対する連絡協議会の回答と見解

- ①今回のような代表者会議を継続し、情報交換や研修を工夫する機会を作る
総会時の講演会の内容を充実させる
- ②連絡協議会主催での基礎講座をブロック単位で順番に開催する
開催場所、順番などは要望の強い地域など考慮して総会で提案する
- ③地域ごとの事情があるため、地域状況に応じて各グループで取り組んでほしい
- ④下記別項「役員会の見解」で詳しく見解を述べているので参照してほしい
- ⑤今までに実践例はないので、必要な事項があれば内容を決めて要望してほしい

その他

- ▼社協との良好な連携のあり方 ⇒ 良好なグループの報告あり。参考にしてほしい
- ▼グループの高齢化や役員不足をどうするか
連絡協議会役員会も同様の課題がある

連絡協議会提言についての具体化

I 会員拡大とスキルアップ

基礎講座を行うことで確実に会員数が増加しているため、連絡協議会主催の基礎講座を行う。現会員も参加することでスキルアップも図れる。

II 会員のモチベーション向上

総会の内容を工夫する。広報誌「野原の歌」を活用できるよう内容を充実する。

III 傾聴の意義と大切さの共有

傾聴についてのリーフレットを作成発行する。



傾聴活動に関する問題について連絡協議会役員会の見解

代表者会議での一部の方の発言について、役員会として下記のような見解となりました。（青字記載部分） この件についてのご質問、ご意見等は広報担当へお願いします。

●『公開型傾聴』について

「講演会または体験を聞く会」の名称がふさわしいと思われます。

●「基礎講座テキストは、いきなりスキルについて書かれており高齢者への人権、尊厳については記載されていない」との発言について

基礎講座の配布資料（冊子）は全般にわたって、高齢者の人権の尊重、尊厳などを大切にするという基本的考え方で記述しています。「その人の尊厳（自尊心、プライド）を尊重し、人生の主人公として一生懸命に生きてきた人として向かい合うという意識をきちんと持つことが大切」という文言も記述してあります。

実際の基礎講座と併せて配布資料（冊子）の内容を確認してください。

尚、基礎講座での配付資料は基礎講座を受講された方だけにお渡ししています。